

ぐるっとくん利用者アンケートの内容について

1. 調査目的

○利用者属性、利用状況、満足度のほか、令和 7 年 4 月 1 日に実施した運行見直し（路線再編・運賃改定）に伴う利用状況の変化、今後の運行見直しに向けた要望等の調査を行う。

2. 調査時期

1 月下旬～2 月上旬の平日・休日 各 1 日（計 2 日間） ※調整中

3. 対象路線

上尾市市内循環バス「ぐるっとくん」の全路線とする。（平休ともに 13 台で運行）

4. 調査方法

平日：全便に調査員が 1 名乗り込み、利用者に調査票を配布

休日：上尾駅及び北上尾駅において調査員がバス停付近に待機し、乗降客に調査票を配布

第 2 回協議会を踏まえた修正：休日の対象駅として北上尾駅を追加

5. 調査票回収方法

回収方法は郵送・WEB の併用とする。

利用者には調査票を封入した返信用封筒を配布し、回答後、封入して返信用封筒を投函する。

なお、調査票に記載の QR コードからの WEB 回答も可能とする。

6. 想定配布、回収数

平日：800 部配布、400 部回収を想定（回収率 5 割）

休日：400 部配布、200 部回収を想定（回収率 5 割）

※配布数は平休の利用者数の実績から、往復分を除いた想定値として設定

7. 調査項目

表 利用者アンケートの設問項目

調査項目	把握する内容
1. 個人属性	・回答者の属性を把握 →居住地、年代、職業、利用する鉄道駅
2. ぐるっとくんの利用状況	・現状の利用状況、満足度を把握 →利用路線、利用目的・区間・頻度・時間帯・目的地・支払い方法、満足度、乗り継ぎ有無
3. ぐるっとくん再編による利用の変化	・再編による利用の変化、考えを把握 →利用頻度の変化、便利になったかどうか、便利・不便な点
4. 今後必要と思う取り組み	・今後の運行見直しに向けての意見を把握 →バス停・所要時間・便数・支払い方法・情報案内に対する要望
自由記述	その他自由意見

市内循環バス「ぐるっとくん」利用者アンケート

議事 2

いつもご利用ありがとうございます。
市内循環バス「ぐるっとくん」の利便性向上の検討に向け、
ご利用の皆様のご意見をお聞かせください。

WEB 回答も可能です。
二次元バーコードを
読み取りください→

二次元
コード

設問 1 ご自身のことについてお伺いします。

問 1-1 ご自身のお住まい、年代、職業、よく利用する鉄道駅をお答えください。

お住まい	市内	市内の方は右の欄に町丁目を記入してください。番地は不要です。 右の欄のいずれかの団地にお住まいの方は、○印を付けてください。	上尾市 _____ (記入例) 上尾市本町3丁目			
	市外	市外にお住まいの方は右の欄のいずれかに○印を付けてください。	1. 原市団地 2. 尾山台団地 3. 西上尾第一団地 4. 西上尾第二団地 1. さいたま市 2. 桶川市 3. その他埼玉県内 4. その他埼玉県外			
年代	1. 14歳以下 2. 15～17歳 3. 18～29歳 4. 30～39歳 5. 40～49歳 6. 50～64歳 7. 65～74歳 8. 75歳以上					
職業	1. 学生 2. 会社員・公務員・団体職員 3. 自営業 4. 農業 5. パート・アルバイト 6. 専業主婦・主夫 7. 無職 8. その他					
よく利用する駅 (2つまで)	※鉄道を利用する方は、よく利用する駅を選択肢から最大2つまで選び、それぞれ番号でご記入ください。「7. その他」の方は具体的な駅をご記入ください。 最もよく利用する駅 (_____)、次によく利用する駅 (_____) 1. 上尾駅 2. 北上尾駅 3. 東大宮駅 4. 原市駅 5. 沼南駅 6. 桶川駅 7. その他 (具体的な駅を記入)					

設問 2 市内循環バス「ぐるっとくん」の利用状況についてお伺いします。

問 2-1 普段よく利用する市内循環バス「ぐるっとくん」の路線を選択肢から最大2つまで選び、それぞれ番号でご記入ください。

最もよく利用する路線 (_____)、次によく利用する路線 (_____)	2つまで選択
1. 大石桶川線 2. 大石領家北上尾線 3. 平方丸山公園線 4. 平方小敷谷循環 5. 大谷循環 6. 上平箕の木循環 7. 上平菅谷北上尾線 8. 原市平塚循環 9. 原市瓦葺線	

問 2-2 問 2-1 でお答えいただいた路線のうち、最もよく利用する路線について、利用目的や利用区間等をお答えください。

利用目的 (当てはまる選択肢全てに○)	1. 通学 2. 通勤 3. 買い物 4. 通院 5. その他の私用
利用区間	乗車停留所 : _____ 降車停留所 : _____
利用日数	1. 週に5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3回 5. 月1回程度 6. 年に数回程度
利用時間帯	行きは (午前・午後 _____ 時台) 帰りは (午前・午後 _____ 時台)
主な目的地	施設名 : _____ (記入例) 上尾市役所 又は住所 : _____ (記入例) 上尾市本町3丁目
支払い方法	1. 現金 2. 回数券 3. 交通系 IC カード 4. QR 決済 5. 無料

問 2-3 市内循環バス「ぐるっとくん」を利用する際に、他の移動手段との乗り継ぎはありますか。

当てはまる選択肢全てに○をつけてください。

すべて選択に変更

1. 鉄道 (JR、ニューシャトル)	2. 民間路線バス (東武バス・朝日バス・けんちゃんバス)
3. 市内循環バス「ぐるっとくん」の他路線	4. 桶川市のコミュニティバス「べにばな GO」
5. 他の交通手段への乗り継ぎはしない	6. その他 (_____)

→裏面に続きます

●市内循環バス「ぐるっとくん」について

市内循環バス「ぐるっとくん」は、お買い物や通院、また通勤・通学など市民の移動を支えるため、民間路線バスを補完するものとして、上尾駅を中心に市内を広範囲にわたり運行しています。

その中で、令和7年4月に運行見直し（路線の再編・運賃見直し）を実施しました。

市内循環バス「ぐるっとくん」の運行見直し後の利用状況を踏まえ、今後の利便性向上の取り組みについて、以降の設問への回答にご協力ください。

設問3 市内循環バス「ぐるっとくん」の運行見直しについてお伺いします。

問3-1 令和7年4月に実施した運行見直しについてお答えください。

運行見直し前後での利用頻度の変化	1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. 運行見直し後に初めて利用するようになった
運行見直し後、便利になったか	1. 便利になった 2. 変わらない 3. 不便になった
便利になったと感じる点 (当てはまる選択肢全てに○)	1. 便数の増加 2. ルートの変更 3. 上尾駅の乗り場の変更 4. 支払い方法の追加 5. その他 ()
不便になったと感じる点 (自由記述)	

問3-2 今後、市内循環バス「ぐるっとくん」をより利用しやすくなるための取り組みについて、以下の取り組みの中から必要と思うものについて、当てはまる選択肢全てに○をつけてください。
具体的な内容があれば、選んだ選択肢の横に内容をご記入ください。

1. 今のままでよい	
2. バス停の新設（具体的な地域・目的地等）	（内容： ）
3. ルートの変更（具体的な区間等）	（内容： ）
4. 所要時間の短縮（具体的な区間等）	（内容： ）
5. 支払い方法の追加	（内容： ）
6. バス停やHP等での情報案内の強化	（内容： ）
7. その他	（内容： ）

問3-3 ぐるっとくんの良いところやその他ご意見があればご記入ください。（自由記述）

運行便数、時間帯に関する項目を削除（今後の早期実現は非現実的であるため、意見ある方はその他として記載）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

※WEBでご回答いただくか、調査票を同封の返信用封筒に入れてポストに投函ください。

（どちらかの方法でご回答ください。ポストに投函いただく場合、切手は不要です）。

※回答及びポストへの投函は、誠に恐れ入りますが、●月●日（●）までをお願いいたします。

【本アンケートに関するお問い合わせ】

実 施 者：上尾市役所市民生活部交通防犯課 交通防犯担当 TEL：048-775-5138（直通）

調査受託者：八千代エンジニアリング株式会社 道路・交通部 TEL：03-5822-6029（直通）

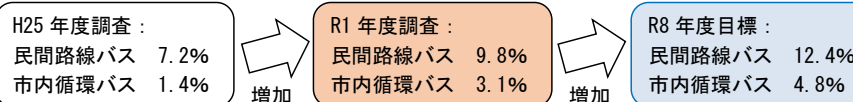
地域公共交通計画改定に向けた市民アンケートの内容について

1. 調査目的

- 上尾市地域公共交通計画（R4.3 策定）において設定した数値目標の達成状況の評価
- 計画の策定から実施してきた各施策の評価を行う
- 現時点や将来の生活を想定した、市民の公共交通に関するニーズを把握し、今後の公共交通に関する施策検討の参考とする
- ぐるっとくん再編の評価については別途実施の利用者アンケートで行う

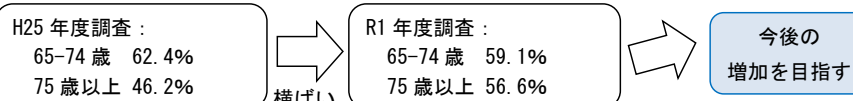
（参考）計画書の数値目標のうち、市民アンケートに関わる項目（赤枠）

数値目標 1 市内バスの主な交通手段としての利用率の増加



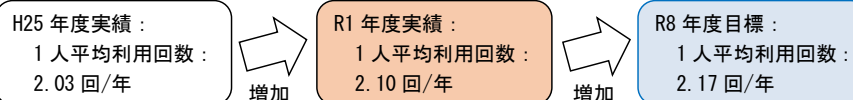
設定の考え方	市内移動の主な手段である民間路線バス、市内循環バスの利用率より、「目標 1 誰もが利用しやすいネットワークの効率化と利便性の向上」の達成度を評価する
把握方法	市民アンケート調査より把握（主な外出手段として「民間路線バス」「市内循環バス」を選択する方の比率）

数値目標 2 高齢者の外出回数の増加



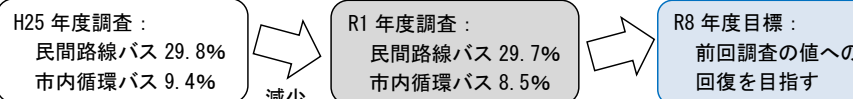
設定の考え方	65 歳以上の高齢者の外出状況を把握することで、「目標 2 公共交通サービス向上による高齢者等の外出機会の増加」の達成度を評価する
把握方法	市民アンケート調査より把握（65-74 歳、75 歳以上の回答者のうち、外出日数が週 3 日以上の方の比率）

数値目標 3 市民の市内循環バスの利用回数の増加



設定の考え方	市内循環バス「ぐるっとくん」の利用者数を把握することで、「目標 3 市内全域での公共交通サービスの向上による利用増」の達成度を評価する
把握方法	毎年度の運行実績より整理。

数値目標 4 市内バスの総合的な満足度の向上



設定の考え方	きめ細かな情報提供と利用促進の取組により、市内公共交通への満足度の向上が図られ、「目標 4 公共交通のわかりやすさの向上」「目標 5 市民の公共交通に対する理解の向上」「目標 6 関係者間および施策間の連携による地域活性化」の達成度を評価する
把握方法	市民アンケート調査より把握（民間路線バス、市内循環バスそれぞれの総合的な満足度の回答結果から、「満足」「やや満足」とする比率）

2. 調査実施内容

(1) 調査の方法

住民基本台帳より地区ごとに無作為抽出した満 15 歳以上の市民 4,000 人に郵送配布・web 回答方式で実施する。各地区・団地の配布数の設定について、以下に示す。

※第 2 回協議会を踏まえた変更点：外国人も調査対象とします

表 市民アンケート配布数の設定

分類	地区・団地名	人口 (8/1時点)	構成比	4,000人抽出	
				配布数	回収数(回収率40%と想定)
6地区	上尾地区	66,808	29.0%	400	160
	平方地区	7,825	3.4%	400	160
	原市地区	33,629	14.6%	400	160
	大石地区	45,425	19.7%	400	160
	上平地区	30,102	13.1%	400	160
	大谷地区	32,646	14.2%	400	160
4団地	原市団地	2,279	1.0%	400	160
	尾山台団地	2,503	1.1%	400	160
	西上尾第一団地	4,836	2.1%	400	160
	西上尾第二団地	4,445	1.9%	400	160
合計		230,498	100.0%	4,000	1600

(2) 調査項目

表 市民アンケートの設問項目

調査項目	把握する内容 ※太字は計画の数値目標に関わる項目
1. 個人属性	・ 回答者の属性を把握 → 居住地、性別、 年代 、職業、自動車保有状況、免許保有
2. 日常の移動・外出実態	・ 現状の移動発生量を把握 → 行先、目的、外出の時間帯、 頻度 、交通手段
3. 公共交通の利用実態	・ 公共交通の利用頻度 → 市内循環バス ・ 民間路線バス ・ 鉄道 の利用頻度
4. 公共交通の満足度・評価	・ 公共交通に対する満足度を把握 → 路線バス 、 市内循環バス の満足度
5. 公共交通に関する近年の取り組みについて	・ 計画策定後の取り組みの認知度・利用状況等 → ぐるっとくん再編後の利用状況、バスロケの認知度、公共交通マップの認知度等
6. 今後の公共交通に関する取り組みについて	・ 公共交通の必要性 ※第 2 回協議会を踏まえ追加 ・ 困りごと及びそれに対する施策 → 現在の困りごと、将来の困りごと → 力を入れてほしい施策（現計画の施策＋新たな施策候補）
7. タクシー活用について	・ タクシーを活用した新たな交通の認知度、利用意向等 → 認知度、利用意向、行きたい場所、曜日、時間帯
8. 自由記述	その他自由意見

(3) 調査スケジュール

- ・ 11 月：調査票の修正・確定
- ・ 12 月：調査実施（アンケートの印刷、配布、回収）
- ・ 1 月：集計
- ・ 2 月：アンケート調査の分析
地域公共交通活性化協議会で結果報告

市民アンケート調査項目（案）

設問		数値目標	方式	選択肢	備考
① 個人属性	お住まい 町丁目 団地の方	—	記述		町丁目まで記入
	性別	—	単一選択	原市団地/尾山台団地/西上尾第一団地/西上尾第二団地	
	年代	○：目標2	単一選択	男性/女性/その他	
	職業等	—	単一選択	15～17歳/ 18～29歳/ 30～39歳/ 40～49歳/ 50～64歳/ 65～74歳/ 75歳以上	
	自動車保有状況	—	単一選択	生徒・学生/ 会社員・公務員・団体職員/ 自営業/ 農業/ パート・アルバイト/ 専業主婦・主夫/ 無職/ その他	
	運転免許保有	—	単一選択	自動車あり/ 原付・二輪あり/ 自動車と原付・二輪の両方あり/ なし	
	普段の外出頻度	—	単一選択	免許あり/免許があるが運転しない/持っていたが返納した/一度も持ったことがない	
② 日常の移動・外出実態	一番多い外出の目的	—	単一選択	週に5日以上/ 週3～4日/ 週1～2日/ 月2～3回/ 月1回程度/ 年に数回程度	
	外出の目的地（施設名、住所）	—	記述	通学/ 通勤/ 買い物/ 銀行・郵便局・市役所等/ 通院・介護サービス/ 家族などの通院・介護サービスの付き添い/ 趣味・レジャー・習い事等/ 家族などの送迎（車での送り迎え）/ その他	
	外出時間	—	記述		施設名または所在地を記入（町丁目まで）
	外出回数	○：目標2	単一選択		行きと帰りの時間帯を記入
	主な交通手段	—	単一選択	週に5日以上/ 週3～4日/ 週1～2日/ 月2～3回/ 月1回程度/ 年に数回程度	
		—	単一選択	自動車（自分で運転）/ 自動車（送ってもらう）/ 自動二輪・原付/ 自転車/ 市内循環バス「ぐるっとくん」/ 民間路線バス/ 鉄道/ タクシー/ 徒歩/ その他	バスの場合乗車バス停を記入
		—	単一選択	週に5回以上/ 週に3～4回/ 週に1～2回/ 月に数回/ 年に数回/ 利用しない	
③ 利用公共交通の	ぐるっとくんの利用頻度	○：目標1	単一選択	週に5回以上/ 週に3～4回/ 週に1～2回/ 月に数回/ 年に数回/ 利用しない	修正点：タクシー追加
	民間路線バスの利用頻度	○：目標1	単一選択	週に5回以上/ 週に3～4回/ 週に1～2回/ 月に数回/ 年に数回/ 利用しない	
	J R・ニューシャトルの利用頻度	—	単一選択	週に5回以上/ 週に3～4回/ 週に1～2回/ 月に数回/ 年に数回/ 利用しない	
	タクシーの利用頻度	—	単一選択	週に5回以上/ 週に3～4回/ 週に1～2回/ 月に数回/ 年に数回/ 利用しない	修正点：タクシーの項目追加
④ 足公度・公共交通の評価の満	ぐるっとくんの満足度（個別）	12の項目	単一選択	満足/ やや満足/ どちらでもない/ やや不満足/ 不満足/ わからない	5段階評価＋わからない
	ぐるっとくんの満足度（総合）	総合評価	○：目標4	満足/ やや満足/ どちらでもない/ やや不満足/ 不満足/ わからない	5段階評価＋わからない
	民間路線バスの満足度（個別）	12の項目	単一選択	満足/ やや満足/ どちらでもない/ やや不満足/ 不満足/ わからない	5段階評価＋わからない
	民間路線バスの満足度（総合）	総合評価	○：目標4	満足/ やや満足/ どちらでもない/ やや不満足/ 不満足/ わからない	5段階評価＋わからない
⑤ 公共交通に関する近年の取り組み	令和7年4月のぐるっとくん再編後の利用回数変化	—	単一選択	利用回数は増えた/ 利用回数は減った/ 利用回数は変わらない/ 以前は利用しなかったが利用するようになった/ 以前は利用していたが、今は利用していない/ 以前も今も利用していない	利用者アンケートでも確認
	ぐるっとくんでキャッシュレス決済が利用できること	—	単一選択	知っており、利用したことがある/ 知っているが利用したことがない/ 知っているが利用方法がわからない/ 知らなかった	
	ぐるっとくんのバスロケ※の認知度（「バスロケーションシステム“BusGo!”」）	—	単一選択	知っており、使用したことがある/ 知っているが使用したことがない/ 知っているが使用方法がわからない/ 知らなかった	
	民間路線バスのバスロケ※の認知度（東武バス「バス現在位置情報検索サービス」、朝日バス「朝日自動車バスナビ」等）	—	単一選択	知っており、使用したことがある/ 知っているが使用したことがない/ 知っているが使用方法がわからない/ 知らなかった	※バスの現在位置や遅延情報をスマートフォンなどの端末で知ることができるサービス
	上尾市公共交通マップの認知度	—	単一選択	知っており、利用したことがある/ 知っているが利用したことがない/ 知らなかった	
	タクシー配車アプリの認知度（民間タクシー）	—	単一選択	知っており、利用したことがある/ 知っているが利用したことがない/ 知らなかった	

※バスの現在位置や遅延情報をスマートフォンなどの端末で知ることができるサービス

設問		数値目標	方式	選択肢	備考
⑥ 今後の公共交通に関する取り組み	今後、市の負担が増加する中で、公共交通に対してどう取り組むべきか	—	単一選択	<ul style="list-style-type: none"> ・市の費用負担が増加してでも、公共交通サービスを向上すべき ・市の費用負担を一定程度投入し、公共交通サービスを維持すべき ・公共交通のサービス水準を引き下げ、市の費用負担を減らすべき ・わからない ・その他 	修正点：公共交通の必要性の設問追加
	移動に関する現在の困りごと	—	複数選択	困っていることは特にな バスの混雑 鉄道の混雑 道路の混雑 駐車場・駐輪場がない 外出にかかる移動費用が高い 雨の日の道路の混雑 雨の日のバス・JR車内の混雑 予約が埋まるなどの理由でタクシーに乗れない 鉄道の本数・運行時間帯 バスの本数・運行時間帯 自動車等の運転に不安がある 家族や知人の送迎や付き添いをするために、自分の自由な移動が制限される 家族や知人など送迎を頼れる人がいない 荷物が重く、荷物をもって移動できない 駅やバス停が遠い 目的地まで行く手段がない 家族や知人などに送迎してもらうことに抵抗がある 子連れでの公共交通の利用に不安がある（周囲への気遣い等） その他	
	将来（5～10年後）の移動に関する不安	—	複数選択	特に不安を感じない 足や体が弱くなり、外出するのが難しくなる 自分が自動車を運転できなくなる 家族や知人などが送迎や買い物をしてくれなくなる（できなくなる・いなくなる） 家族や知人の送迎や付き添いをするために、自分の自由な移動が制限される 鉄道、バスなどが減便・廃止になり、不便になる・移動手段がなくなる 鉄道、バス、タクシーなどの運賃が上がり、外出の費用が自分にとって負担になる 物価高騰などにより自動車等の維持費・購入費が負担になる 生活圏の商業施設や病院がなくなり、移動距離が長くなる その他	

設問		数値目標	方式	選択肢	備考	
⑥ 今後の公共交通に関する取り組み	現在や将来の困りごと・不安を解消するために力を入れてほしいこと	施策1-1関連	—	3つ程度選択	駅でのバスの路線案内や発着案内を強化することで、公共交通の分かりやすさ向上を目指す	地域公共交通計画の施策1-1と対応
		施策1-2関連			公共交通マップや総合時刻表の作成・配布、啓発イベントの実施などにより、市民の公共交通への周知を図り、利用者増加・維持を図る	地域公共交通計画の施策1-2と対応
		施策1-3関連			バス情報のオープンデータ化を推進し、公共交通の利便性向上を促進する ※バス情報のオープンデータ化：バスの時刻表・バス停位置・ルート・リアルタイム情報等のデータを、利用のルールを定めたうえで誰もが自由に利用可能な形で公開し、利用者や開発者による利活用の促進を図る取り組み	地域公共交通計画の施策1-3と対応
		施策1-4関連			ぐるっとくんやタクシーのICカードやキャッシュレス決済をさらに拡充し、利便性向上を図る	地域公共交通計画の施策1-4と対応
		施策1-5関連			障害者や介助者への運賃割引制度を引き続き実施し、市民の移動性の向上を図る	地域公共交通計画の施策1-5と対応
		施策1-6関連			市内の施設や企業の送迎車両等の地域資源を最大限に活用し、既存の公共交通を補完する移動手段の確保を検討する	地域公共交通計画の施策1-6と対応
		施策2-1関連			ぐるっとくんについて、令和7年4月に実施した運行見直しの効果を検証したうえで、さらなる再編を検討する	地域公共交通計画の施策2-1と対応
		施策2-2関連			ぐるっとくんについて、JR桶川駅への乗り入れや桶川市コミュニティバスとの連携を継続し、JR東大宮駅への乗り入れも検討する	地域公共交通計画の施策2-2と対応
		施策2-3関連			ぐるっとくんについて、新たな商業施設の開業に合わせ、ぐるっとくんと民間路線バスが連携して施設へのアクセス性向上を検討・実施する	地域公共交通計画の施策2-3と対応
		施策3-1関連			民間路線バスについて、利用者数減少の中で持続可能な公共交通ネットワークを構築するために運行の維持を図る	地域公共交通計画の施策3-1と対応
		施策3-3関連			バスまちスポットの展開やバス停の屋根・ベンチの設置などにより、利用環境の改善を図る ※バスまちスポット：出歩きやすいまちづくりの一環として、バス停の概ね50m以内にある商店や施設等で、時刻表の掲示等を行って利用者がバスを気軽に待ったり休憩したりできるようにした場所	地域公共交通計画の施策3-3と対応
		施策4-1関連			公共施設や駅でのタクシー待合環境を改善し、アプリ等を活用して料金や所要時間の案内を充実させることで、タクシーの利用向上を目指す	地域公共交通計画の施策4-1と対応
		施策4-2関連			交通弱者の移動手段確保のため、タクシー車両の有効活用方法について有効な施策を検討する	地域公共交通計画の施策4-2と対応
		追加			ぐるっとくん・民間路線バスを維持するため、運転手不足の解消を図る支援をする	追加
		追加			地域の移動手段が十分に確保できない地区において、新たな交通施策を検討する	追加
		追加			バス・タクシーなどで脱炭素に向けた取り組みを推進する（EV車等）	追加
		追加			自転車の駐輪場・通行空間の整備、シェアサイクルの促進などを進める	追加
		追加			自動運転・グリーンスローモビリティ・MaaS等の新技術について研究する ※グリーンスローモビリティ：時速20km未満で公道を走る、CO2排出量が少ない電動車を活用した、地域住民や観光客向けの小さな移動サービスとその車両の総称。 ※MaaS：ICT技術を活用し、複数の公共交通やその他の移動サービスを一つのサービスとしてシームレスにつなぎ、検索・予約・決済を一括で行うもの	追加

設問		数値目標	方式	選択肢	備考
⑦ タクシー活用	【導入部分】道路が狭い、利用が限定的といった理由からバスの運行が困難な地域において、将来の移動手段の在り方を研究しています。その選択肢の一つとして、タクシーの有効活用（オンデマンド交通、ライドシェア等）が考えられます。これを踏まえ、次の設問にお答えください。 ※オンデマンド交通：バスとタクシーの中間的な位置にある交通で、予約に応じてダイヤやルートを柔軟に変えて運行する乗合型の交通 ※（日本版）ライドシェア：タクシー事業者の管理下で、自家用車や一般ドライバーを活用し、タクシー不足を補う運送サービス				修正点：説明内容修正（期待感を持たせない）
	オンデマンド交通の認知度	－	単一選択	よく知っている/聞いたことがある程度/知らなかった	
	ライドシェアの認知度	－	単一選択	よく知っている/聞いたことがある程度/知らなかった	
	今後力を入れるべき公共交通手段	－	単一選択	・現状のバス（ぐるっとくん）を基本とし、ぐるっとくんのルートや便数の見直しを進めるべき ・バス（ぐるっとくん）の運行は維持しつつ、追加でタクシーを活用した交通手段も導入すべき ・バスの路線（ぐるっとくん）の一部を廃止または減便し、その代わりにタクシーを活用した交通手段を導入すべき ・わからない ・その他	修正点：設問追加
	タクシー車両を有効活用したサービスの利用意向	－	単一選択	普段から利用したい/時間帯や天候次第で利用したい/機会があれば利用してみたい/料金によっては利用したい/利用しない	
	行きたい場所	－	2つまで選択	駅/公共施設/病院/商業施設/その他	
	行きたい場所の具体例	－	記述		具体例を記載
	利用したい曜日	－	選択	平日/休日/平日・休日どちらも	
	利用したい時間帯	－	記述		行きと帰りの時間帯を記入
⑧	自由記述	－	記述		